

# 休日在宅当番医のご案内 (診療時間 9:00~17:00)

【凡例】(内)…内科、(小)…小児科、(外)…外科、(整)…整形外科、(リ)…リハビリテーション科、(耳)…耳鼻咽喉科、(胃)…胃腸科、(胃内)…胃腸内科、(消)…消化器科、(消内)…消化器内科、(消外)…消化器外科、(循)…循環器科、(循内)…循環器内科、(糖内)…糖尿病内科、(呼)…呼吸器科、(皮)…皮膚科、(脳)…脳神経外科、(神)…神経内科、(泌)…泌尿器科、(眼)…眼科、(産)…産婦人科、(ア)…アレルギー科、(総)…総合診療科、(放)…放射線科

6月4日 (日)	飯塚市飯塚19-20 松浦医院 (内) 0948-22-3657	飯塚市花瀬87-1 児嶋病院 (内)(外)(脳) 0948-22-1498	飯塚市本町1162-8 長谷川整形外科医院 (整) 0948-23-0035	飯塚市平塚88-2 塚本クリニック (内)(消)(外) 0948-72-4388	嘉麻市鴨生651-4 平野医院 (内)(小)(ア) 0948-42-1125
6月11日 (日)	飯塚市庄司36-5 まつなり医院 (内)(小) 0948-22-0643	飯塚市目尾1256-14 坂本医院 (内)(皮) 0948-21-0076	飯塚市伊岐須640-1 ふくはだ皮ふ科 クリニック(皮) 0948-26-2277	飯塚市楽市141-2 徳永眼科医院 (眼) 0948-25-0011	嘉麻市上山田431-10 松井医院 (内) 0948-52-0465
6月18日 (日)	飯塚市鯉田2517-201 弥永内科小児科医院 (内)(小) 0948-24-8680	飯塚市勢田1286-4 佐藤医院 (内) 0948-92-0006	飯塚市吉原町10-6 青山外科医院 (外)(整) 0948-22-0212	飯塚市堀池254-1 なかおクリニック (内) 0948-21-5755	嘉麻市飯田157 吉國医院 (小) 0948-62-2074
6月25日 (日)	飯塚市潤野855 二宮医院 (内)(小) 0948-22-3272	飯塚市伊川1243-1 社会保険二瀬病院 (内) 0948-22-1526	飯塚市吉原町10-6 青山外科医院 (外)(整) 0948-22-0212	飯塚市小正40-1 西園内科クリニック (内) 0948-24-9308	嘉麻市大隈町1118-3 吉原医院 (内)(外) 0948-57-0355

医療機関、診療科等が変更となったり、やむを得ず休診となる場合がありますので、当日の新聞紙面もしくは医療機関への連絡など、今一度ご確認をお願いします。

## 医療あれこれ

テーマ:子宮頸がんを予防するために、いま知っておきたいこと  
~10代でワクチンを! 20歳からは検診を!~



飯塚市立病院

薬剤室長

やました たかし  
山下 崇

子宮頸がんとは、子宮の入り口部分(頸部)にできるがんです。日本においては、年間約10,000人が子宮頸がんを発症し、毎年約2,900人の女性が亡くなっています。子宮頸がんは出産年齢期の20~30歳代の女性に発見されるケースの多いがんであり、発症率は年々増加しています。妊娠の検査中に子宮頸がんと診断される例もあります。

初期の子宮頸がんには、ほとんど自覚症状がありません。進行すると、生理に関係がない出血がある、茶色のおりものが増える、悪臭を伴う、下腹部や腰が痛むなどの症状が出てきます。子宮頸がんの原因はヒトパピローマウイルス(以下HPV)です。HPVはありふれたウイルスで、異性との性経験のある女性の84.6%が、一生に一度はHPVに感染すると推計されています。通常は感染しても自然に排除されますが、長い間感染が続いた場合、細胞が少しずつ、がん細胞へと変化していくことがあります。

子宮頸がんの予防はワクチン接種と検診です。ワクチンは子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。国の指針としては、20歳以上の女性において、2年に1回の検診が推奨されています。次にワクチンですが、公費によりHPVワクチンの接種が可能で、小学6年生~高

校1年生相当の女子は公費(無料)で接種することができます。今ならキャッチアップ期間で、平成9年度から平成18年度生まれまでの女性の中で、過去にHPVワクチンをまだ合計3回接種されていない方も公費の対象となります(令和4年4月~令和7年3月までの3年間)。また、令和5年4月から、「シルガード9」という新薬も公費で受けられるようになりました。シルガード9には、9つのHPV型に対する抗体が作られます(それまでは4つの型でした)。子宮頸がんの原因となるHPV型の88.2%をカバーします。シルガード9は年齢によって接種回数異なり、2回もしくは3回行います。事前に医師に接種回数を確認してください。

残念ながら日本は、病気にならないための予防医学の取り組みがなかなか浸透していません。実際に子宮頸がん検診の受診率は43.7%、HPVワクチンの接種率は1.9%(令和元年)と先進国の中でも非常に低い水準で推移しています。子宮頸がんは予防することが出来るがんです。『10代でワクチンを! 20歳からは検診を!』これを合言葉にしていきましょう。